

速報

MRI-超音波(US)融合前立腺生検
(フュージョン・バイオプシー)
の導入開始！

2023年10月12日より1例目開始！

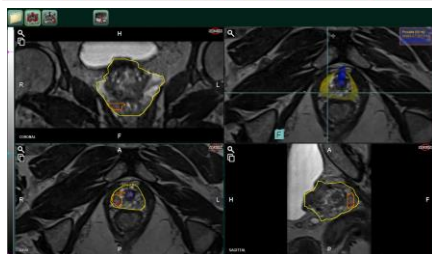
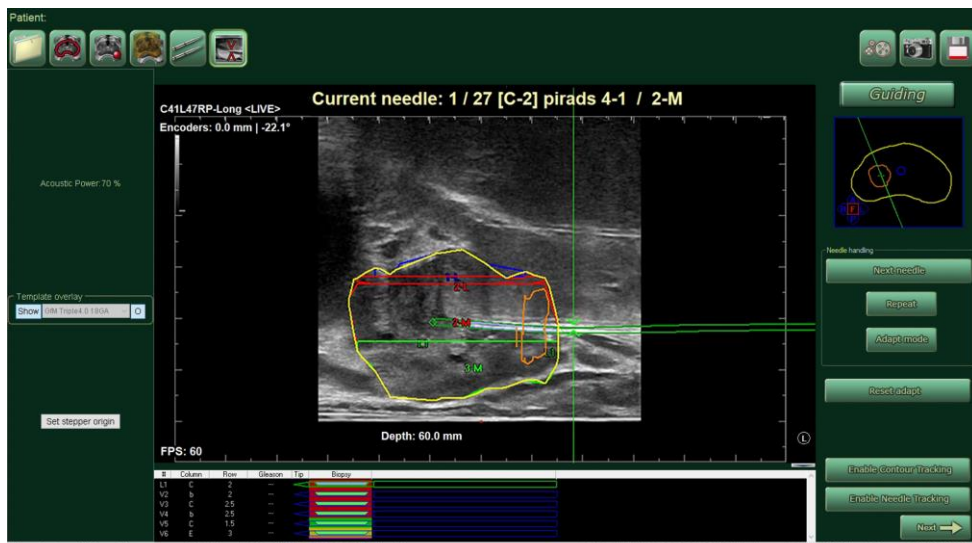
MRI-US (超音波)融合経会陰式前立腺生検

当院では”フュージョン・バイオプシー“と呼称しています！

当院使用機種 : ARIETTA 65 IntuitiveFusion

超音波装置に融合（フュージョン）機能を搭載。

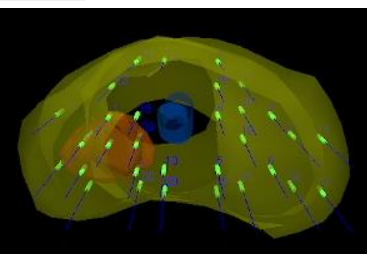
一つの装置でエコーからフュージョン・バイオプシーまで一体化ソリューションを開発。



MRI



US



3D穿刺レポート

<フュージョン・バイオプシーが有益な理由>

- EAUガイドラインでは、下記の患者に対してMRI検査が強く推奨されています。
 - がんが疑われるが生検の経験が無い
 - 前回の生検（バイオプシー）で陰性であった



- MRI検査で陽性所見の場合、MRIターゲット/系統的バイオプシーを組み合わせることが強く推奨されています。
- また、穿刺は感染リスクの小さい経会陰穿刺が強く推奨されています。

これまでのバイオプシーとの違い

1. 正診率の向上

①. がんの見逃しを減らす

②. 複数回の生検を回避する

➡ 上記により患者さん負担と医療費の低減につながる

2. 正確ながんの部位を判定

①. バイオプシー部位（陽性部位）の正確な記録ができる

②. ロボット支援手術では適切な神経温存術式が可能である
（尿失禁軽減・性機能維持・取り残し率低減）

③. 将来的に局所療法（放射線療法・凍結療法など）へ応用できる

<検査方法>

検査所要時間以外、従来のバイオプシー法と全く同じです！

(MRI所見とUS所見でバイオプシープラン作成と手技を合わせた所要時間がかかります)

入院検査；2泊3日

麻酔方法；腰椎麻酔（または全身麻酔）

検査所要時間；30分～60分

(従来の生検法では15分～20分)

合併症；血尿および皮下出血・感染・疼痛・排尿困難（尿閉）など